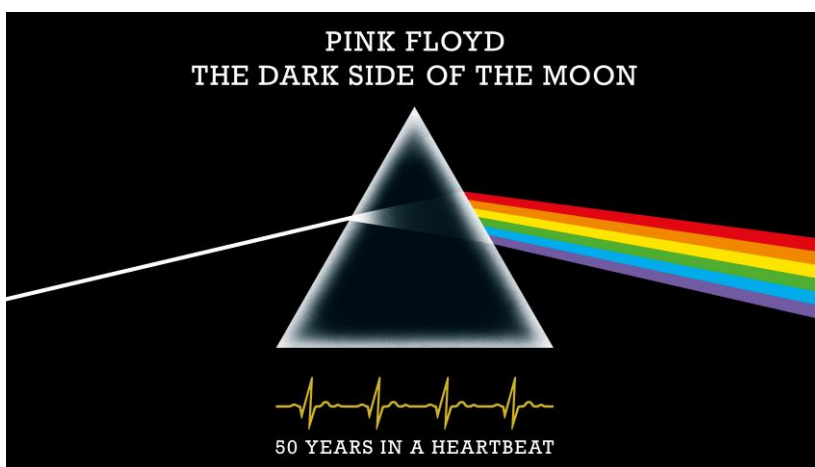


全世界配給終了に伴うラスト“爆音”上映が急遽決定！ プラネタリウム・ショー「ピンク・フロイド/The Dark Side Of The Moon」

全世界で100館以上のプラネタリウムで上映されたプラネタリウム・ショー「ピンク・フロイド/The Dark Side Of The Moon」が2024年12月31日を以って配給終了になることを受け、ラスト“爆音”上映が急遽決定しました。尚、本上映は10月16日(水)～11月22日(金)の期間、月曜・水曜・金曜の平日限定で上映いたします。

プラネタリウムならではの5.1サラウンドと爆音上映が織りなす“凄まじい音圧”で『狂気』の世界をお楽しみください。



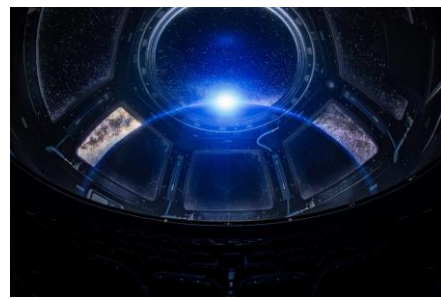
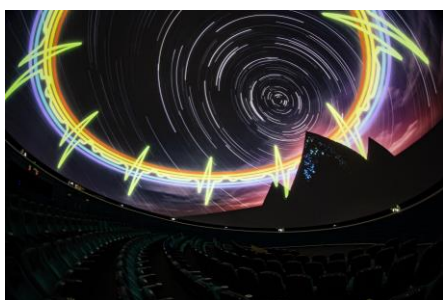
ラスト上映！爆音×サラウンド音響×ドーム映像で最後の『狂気』体験を

本作はアルバムの『狂気』の全10曲(トータル42分)が収録曲順に使用され、プラネタリウムドーム音響の特性を活かした5.1chのサラウンドミックスによるプラネタリウム・ショーです。

2024年12月31日を以って全世界配給終了が決定している本作を、再上映の要望が多数寄せられた“爆音上映”にてラスト上映を致します。

本上映に際し、5.1サラウンドミックスも爆音上映用に再ミックスを施しており、世界でココでしか体験することのできない『狂気』の音響世界をお楽しみいただけます。

さらに会場となるプラネタリアTOKYO DOME1は、ドーム天頂のみならず壁面にかけて映像を映し出すことができる高解像度映像ドームです。これによって他のプラネタリウム施設とは一線を画す、圧倒的な没入感と迫力ある映像を体験することができます。



-----☆報道関係お問い合わせ先☆-----

共同ピーアール株式会社 PR アカウント本部9部 内山、高橋、森田

Tel : 03-6260-4861 / Fax : 03-6260-6653 / e-mail : konicaminolta-pr@kyodo-pr.co.jp

プラネタリウム・ショー「ピンク・フロイド/The Dark Side Of The Moon」とは

1973年2月27日、ピンク・フロイド8作目のスタジオ・アルバム『狂気』の初披露となる記者発表がロンドンのプラネタリウムで開催されます。プラネタリウムのドームには『狂気』の楽曲と共に、星や星座、宇宙のビジュアルが映しだされました。このイベントは当時大きな話題を集め、これをきっかけにアルバムは現在までに5,000万枚以上の世界的なセールスを記録します。

プラネタリウムと密接な関係を持つアルバム『狂気』。このアルバムの真価を体験する場所として、そしてピンク・フロイドがデビュー以来試みてきたヴィジュアルとサウンドの融合を体験できる場所として、プラネタリウムが最も適した空間であることは間違いありません。

燦然と輝く不朽の名盤をぜひプラネタリウムでお楽しみください。

▼特設サイト

<https://planetarium.konicaminolta.jp/program/pinkfloyd/?hall=planetariatokyo>

▼作品トレーラームービー

<https://www.youtube.com/watch?v=uC6deLuQKkQ>

●【再爆音上映】プラネタリウム・ショー「The Dark Side Of The Moon」上映情報●

上映期間：2024年10月16日(水)～11月22日(金)

上映曜日：月曜・水曜・金曜の限定上映（※11月4日(月)振替休日省く）

上映会場：コニカミノルタプラネタリアTOKYO DOME1

鑑賞料金：一律 2,600円(税込)

※各日の上映時間は特設サイトにてご確認ください

●チケット販売情報●

▼オンラインチケット購入

①Starry Members会員様

ご希望の上映日7日前の正午12時～上映開始30分前まで

②一般のお客様

ご希望の上映日5日前の正午12時～上映開始30分前まで

▼窓口購入

上映開始当日の朝10時30分～各上映開始時刻まで

※オンラインにてチケットが完売した上映は窓口での販売はありません

●プラネタリウム・ショー「The Dark Side Of The Moon」作品概要●

上映時間：44分

映像制作：NSC Creative（イギリス）

配給契約：IPS（国際プラネタリウム協会）

日本配給：合同会社アルタイル

制作：ピンク・フロイド

作品使用楽曲：

- 1 スピーク・トゥ・ミー/Speak To Me
- 2 生命の息吹き/Breathe (In The Air)
- 3 走り回って/On The Run
- 4 タイム/Time
- 5 虚空のスキャット/The Great Gig In The Sky
- 6 マネー/Money
- 7 アス・アンド・ゼム/Us And Them
- 8 望みの色を/Any Colour You Like
- 9 狂人は心に/Brain Damage
- 10 狂気日食/Eclipse

●アルバム『狂気』●

『狂気(原題：The Dark Side Of The Moon)』はピンク・フロイド8作目のスタジオ・アルバム。現代社会の緊張と抑圧、人間の心のなかに潜む狂気をテーマにした一大コンセプト・アルバムで、バンドとエンジニアのアラン・パーソンズによって生み出された究極の音世界は圧巻。あまりにも象徴的なジャケットのアートワークはヒプノシスによって光のプリズムをモチーフにデザインされた。1973年3月1日にアメリカで発売され、バンド初の全米1位を獲得、シングル・カットされた「マネー」も全米13位とヒットした。全米チャートで741週（15年間）連続ランクインのギネス記録、全世界トータルセールス5000万枚以上、史上最も売れたアルバム3位などの記録を打ちたて、音楽史上最も重要な作品のひとつとして今もなお世界中で新しいオーディエンスを開拓し、魅了し続けている。英国では1973年3月16日に（最高位2位）、日本では1973年4月21日にリリース（最高位2位）された。

●ピンク・フロイド●

©Hipgnosis, Pink Floyd Music Ltd.

全世界で2億5千万枚以上のセールスを誇り、永遠にロック史に輝く“時代を超越する音芸術”ピンク・フロイド。サイケデリックで幻想的なサウンドと文学／哲学的な歌詞。実験性に溢れた録音手法や常識を超えたスペクタクルなステージング。常にアートと密着しながら、ロックの進化とともに歩み続け、いまもなおさまざまなシーンに影響を与え続けている。1967年『夜明けの口笛吹き』でデビュー。当時のメンバーはシド・バレット、ロジャー・ウォーターズ、リチャード・ライト、ニック・メイスン。シドが脱退後デヴィッド・ギルモアが加入。その後、『狂気』（1973）『炎～あなたがここにいてほしい』（1975）『アニマルズ』（1977）『ザ・ウォール』（1979）など数々の名盤をリリース。1986年ロジャー・ウォーターズが脱退、1987年以降はロジャーを除く残りの3人のメンバーで活動。2006年7月7日シド・バレットが死去。また2008年9月15日にはリック・ライトも死去。2014年『永遠(TOWA)』をリリースし、これがラスト・アルバムとなることを宣言したが、ウクライナ支援のため新曲「Hey Hey Rise Up」を2022年8月にリリース。2023年3月『狂気』が50周年を迎え、50周年記念盤として「豪華デラックス・ボックスセット」、「全曲演奏ライブ盤」、日本独自の50周年記念盤『狂気ー50周年記念 SACD マルチ・ハイブリッド・エディション（7インチ紙ジャケット仕様）』が発売。2024年4月新たに『狂気（クリスタル・クリア・ヴァイナル・コレクター・エディション）』が発売となる。



詳しくはピンク・フロイド日本公式：<https://www.pinkfloyd.jp/>